

第109回 藤野地区まちづくり会議全体会 結果報告書

日時 令和8年4月13日(月) 午後7時から午後9時00分まで
会場 藤野総合事務所 4階会議室
出席者 森下副代表、今井副代表、佐藤(裕)委員、由森委員、森川委員、黒川委員、渡辺委員、諸角委員、佐藤(馨)委員、井上委員、高橋委員、小俣委員、星委員、津谷委員、杉本委員、山崎委員、根本委員、小山(宮)委員、難波委員
事務局：野崎所長、斎藤総括主幹、大塚主査、小室主任、長瀬主事

[会議内容]

1 開 会

2 あいさつ(森下副代表)

3 議 題

(1) 令和8年度地域活性化事業交付金申請団体について

地域活性化事業交付金の概要について事務局より説明後、申請団体(①～⑤のとおり)ごとに説明及び質疑応答を行った。

①上野久保の杜を守る会

【質疑応答】

(委員) 5年目以降の活動はどう継続する予定か。

(団体) この数年の活動が認知され、ボランティアが増えてきた。引き続きボランティアの力を借りながら活動を継続していきたい。

(委員) 他の団体と比べると交付金額が少ないが、理由はあるか。

(団体) 身の丈にあう活動にしていきたい。

(委員) 情報発信がもっとあると参加しやすいと思う。

(団体) 了承

(委員) ティラノサウルスの関係で、赤沢は後ろ足部分になる。急坂で危ないが、このような場所で活動していただけるのはありがたい。

②藤野お惣菜地美恵

【質疑応答】

(委員) 食の安全性の対策はどうしているか。

(団体) 認可された解体施設で流通しているものを使用している。厚生労働省が出している基準も遵守している。

(委員) 割高か割安か。

(団体) 通常流通している鶏肉などよりは割高。今後流通した時にこのくらいの金額にしたい。

(委員) 食材購入費とは、解体施設から買うのか。

(団体) 愛川町から買っている。イベント時は遠方のもも使用している。

(委員) 猟師が言うには、駆除は簡単だが、処理が大変と聞く。今後、近くに解体施設ができればそこに持って行けばいいが、その見通しは。

(団体) ジビエは課題がある。安定供給できないため、猟師も有効活用しようという気概にならない。猟友会の津久井支部としてそのような検討があると良い。3年前、津久井支部、農協、市でジビエ開発を検討するとの発表があった。

(委員) 今のコストだと1人1回1万円の予算に単純計算でなるが、補助金がなくなったあとにどう継続するのか。

(団体) 大人は1,500円いただいでいて、トントン。普及活動については、参加費をもらっていないため、補助金がなくなると厳しいが、イベント等への出店で、できる範囲で活動している。啓蒙活動にはお金はかからないため、色々検討していきたい。祭りの収益は、地元の子供会に寄附している。

③FUJINOコミュニティ・フォト・プロジェクト

【質疑応答】

(委員) 作られた本の販路と周知の方法を教えてください。

(団体) 写真集の出版、流通は特殊な分野と考えている。出版する会社に持って行けるものを作っている。一緒に情報発信もしたいと考えている。

(委員) ネット配信も検討したらどうか。

(団体) 考えていきたい。藤野まちセンのロビーでも上映し好評いただいている。

(委員) 作品展示やPRの方法、作成する冊数を教えてください。

(団体) 昨年度は、ぐるしの等のイベントに出展したので、今後も色々なイベントやギャラリースペースに出展して、多くの世代にみてもらいたい。発行部数は50部とし、色々な場所に設置したいと考えている。いずれは、書店等でも出せるように取り組みたい。

(委員) 地域の魅力をより多くに伝えると記載がある。公民館、図書室、学校に置くと、より目的が達成できると思う。協力してくれた方や地域の方に見てもらいたい。

④つなぐ会ユース

【質疑応答】

(委員) スポーツやイベントはバレーに限定するのか。

(団体) 風船バレーなどもやる予定。

(委員) 子供中心の団体も他にあるが、連携は検討しているか。

(団体) 子供と親のどちらの交流をメインにしているのか。

(委員) プレーパークも交付金をもらっていたが、そこの連携やこどもの日を行っている団体等との情報交換をして盛り上げてもらいたい。青少年の健全育成は、藤野も子供が少なくなってきたので、ありがたい。子供の移動について考えると、親を抱き込むような工夫はあるか。

(団体) つなぐ会の母体から知り合いを呼んだり、張り紙をして告知していきたい。

(委員) 親が非協力的だと、活動継続が難しいので、そこを検討してほしい。

⑤藤野商工会青年部

【質疑応答】

(委員) 事業の放置竹林の対策と思うが、イベントのためだけに竹林整備をしていると考えられる。今後のこの課題に対する考えはどうか。

(団体) 困っている箇所は多くあるので、対応していきたい。また、別の地域課題も見聞きするため、その対策もしていきたいと考えている。

(委員) 藤野にある竹を使って竹明かりを作ったという発想はとても良い。夜の魅力を見出してくれたと思う。音楽のイベントはやらないということで良いか。

(団体) 今年は青年会としては駅前でのイベントを実施することは考えていない。竹明かりの制作に尽力する。

(委員) 藤野の課題を逆に地域の活性化のために取り組むことは良いと思うが、青年部の皆さんは、藤野の課題をどのように捉えているか。

(団体) 青年部としては、色々なものにチャレンジして、全てのものに取組んで、地域を盛り上げていきたいと考えている。それが、ゆくゆくは自分たちの商売にも繋がると考えている。

(2) 令和8年度藤野地区まちづくりを考える懇談会の実施希望日について

今年度の懇談会について委員と事務局の調整を行った。

【調整事項】

(事務局) 会場は、藤野小学校の体育館を使用する予定。

(委員) 公共ライドシェア協議会への参画の話が商工会にあった。10月の庁議のスケジュールを知りたい。

(事務局) 順調に進んでも1ヶ月はかかるため、10月の庁議だと11月中旬頃を想定している。

(委員) 今回の懇談会は、今後予定している「藤野地区の暮らし・地域内の移動に関する住民アンケート」結果の話になると思う。アンケートを全戸に郵送する場合、住所をどうやって調べるか。

(事務局) 以前、南区の区民会議で無作為抽出での討議会をしたときは、市職員以外は個人情報扱を扱わせなかった。

(委員) アンケートを郵送するか、自治会経由で配布するか。今後調整が必要である。

※4月24日の自治会長会議で、アンケート実施にあたり、アンケート配布等の協力をお願いすることもある旨、説明を予定。

※まち懇の日程については、保留とする。

4 その他

- ・藤野観光協会から、小さな観光まつりの宣伝があった。
- ・森ラボから柚子皮を使った商品を大学生が開発・販売している旨の紹介があった。

5 閉 会 (今井副代表)

以 上